

令和8年4月13日(月)の午後、地震(震度5弱)及び浸水被害を想定した避難訓練が行われました。訓練の様子や内容をご紹介します。

①訓練の目的や手順の説明

避難の方法や経路の確認のほか、浸水予想区域の確認をしています。



②地震から身を守る行動

地震速報が流れると、すぐに机の下に身を隠します。

机の脚をしっかり持って、頭と体を守ります。



③仁淀川下流域の堤防決壊による洪水を想定

春野高校は浸水が予想されています。

全員、校舎3階に避難します。



④一次避難(校舎3階への垂直避難)

避難の心得『お・は・し・も』(押さない、走らない、喋らない、戻らない)を意識して、落ち着いて行動できています。



⑤一次避難完了

安全が確認されるまで、校舎3階で待機します。

ガラスの飛散などの危険性についても確認しました。



⑥二次避難(体育館への避難)

安全が確認されたら、体育館へ移動します。

実際の災害時には、停電や校舎の損壊も予想されます。



⑦二次避難完了

全員無事に体育館への避難が完了しました。

講評では、素早く番号順に並ぶことが迅速な安全確認につながることも触れられ、防災意識を高めました。

